



川口市立在家中中学校 川口市大字安行領在家272番地
048(295)4102 FAX 048(295)5661
URL <http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/zaike-j/>



- ・心身ともにたくましい生徒
- ・自ら進んで学ぶ生徒
- ・豊かな情操を培う生徒

《音楽》の力を感じる秋

校長 鈴木 玲

《芸術の秋》到来。とりわけ、今年度の在家中中学校の11月は《音楽の秋》といった感じです。

今まさに、合唱コンクールに向けた各クラスの練習が山場を迎え、生徒たちの歌声が校内に満ちています。放課後などにそれぞれの教室から溢れ出す様々な曲の重なりはこの時期の風物詩であり、秋の深まりを感じます。

11月7日(火)には川口市総合文化センター リリアのメインホールをお借りして、合唱コンクールを開催します。みなさんご存知のとおり、リリアのメインホールは様々なアーティストもコンサートを開くほどのとても大きくて立派なホールです。そのような会場のステージに上がり、クラスが創り上げてきた合唱を披露できることは大変貴重な経験です。わずか数分ですが、その貴重な時間を楽しんでもらいたいと思います。

さらに翌日の8日には、日本フィルハーモニー交響楽団が在家中中学校に来てくださり、オーケストラの演奏を生で聴く鑑賞教室を開催します。リリアでの合唱コンクールに引き続き、《音楽の秋》を連日味わうことができるのです。この学校だよりで初めてこのことを知った方からすると、「日本フィル? えっ? **あの**日本フィル?」と、にわかには信じがたいような日本屈指のオーケストラです。

日本フィルハーモニー交響楽団は今から67年前、1956年に設立された、日本を代表する最高峰のオーケストラです。私自身、音楽、特にクラシック音楽について知識も経験ももっていませんが、この会の開催が決定した時から驚きと興奮を抑えることができません。何よりもこの会の素晴らしさは「超一流の音楽」が私たちの生活の場にやってくることにあると思います。今月初めにはヴァイオリン奏者の方と打楽器奏者の方にお越しいただき、1年生を対象にした事前ワークショップも行っていました。

公立中学校の体育館という、日本フィルの方々からすれば決して音響のコンディションが良くない場でも、目の前で奏でられたその音色とパフォーマンスに、一気に耳と目と心を驚づかみにされました。ヴァイオリンの音色は温かく優雅な雰囲気です。スネアドラムのスティックはいったいどんな動きをしているのか分からないほどのスピードです。生徒たちも手拍子をレクチャーしてもらい、全員が演奏者の一人となりました。事前のワークショップだけでも感動と驚きの詰まった楽しい時間でしたので、当日はどれほど贅沢な時間になるのか、今から楽しみで仕方ありません。

さらに5日(日)には、川口市北スポーツセンター(神根西公民館)で行われる『北スポ感謝祭』において、本校の吹奏楽部が演奏を披露します。神根西公民館地区レクリエーション協会様からお声をかけていただき、生徒たちの日頃の頑張りを地域みなさまに見ていただく場を与えていただいたのは大変ありがたいことです。ぜひとも、生徒・保護者、地域の方々など多くみなさまにお越しいただきたいと願っています。

この秋は音楽によって様々な心が育まれると考えます。一流の音楽に触れて情操を豊かにする。合唱や部活動の演奏で仲間との絆をより強固なものにする。地域とともにある学校として力を発揮するなど。そんな《音楽》の力を実感できる秋になりそうです。



合唱コンクール パート練習の様子